河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A−01	表紙・図面リスト	A−10	展開図［1］
A−02	特記仕様書1	A−11	展開図［2］
A−03	特記仕様書2	A−12	電気・給排水図
A−04	付近見取図	A−13	基礎伏図
A−05	全体配置図	A−14	仮設計画図
A−06	全体敷地面積算定表	E−01	構内電線路設備図
A−07	平面図・面積算定表	M−01	給排水設備図
A−08	立面図		
A−09	断面図		

富士河口湖町

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　名　　称　河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事
2　工　事　場　所　山梨県南都留郡富士河口湖町船津字下六本松 5588他

3　用途地域等
　都市計画区域（⊙ 内　・　外）　用途地域（　指定なし　　）
　防火地域等（・　防火　　・　準防火　⊙ 指定なし　　・　２２条　）
　その他の地域・地区（ 下水道供用開始区域・国立公園[普通地域]）
4　主　要　用　途　　公衆用トイレ
5　敷　地　面　積　　74,761.98㎡
6　工 事 の 概 要　　鉄骨造平屋建
　　工事面積合計　16.54㎡

7　別 途 工 事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
　・　構造特記仕様書　　・　外構工事特記仕様書　　・　植栽工事特記仕様書
　⊙ 解体工事特記仕様書　　⊙ 電気設備工事特記仕様書　　⊙ 機械設備工事特記仕様書
　・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(最新版)」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし，標準仕様書に記載されていない事項は，「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書（最新版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」(以下「解体共通仕様書」という。）による。　なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。
2．特記仕様
　1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の（　）、＜　＞及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般事項	①. 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　　※　図示
	②. 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和4年版） ⊙ 建築工事写真撮影要領 工事写真撮影ガイドブック＜建築工事編及び解体工事編＞ （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和5年度版） ・ 建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版）
共通事項	3．概成工期	工事工期より　　日前
	④. 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤. 発生材の処理等	発生材の処理 ⊙引渡しを要するもの（残土 場外搬出適切処理、マニフェスト添付） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ⊙再生資源化を図るもの

種　類	受 入 施 設 名	所　在　地　(Km)	備　考
⊙ セメントコンクリート塊			
⊙ アスファルトコンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ 建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型)(　　)
受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型)(　　)
受入れ施設名・所在地(km)

6．電気保安技術者	・ 適用する　　※ 適用しない
⑦. 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
⑧. 建築材料等	材料の品質等 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「シックハウス対策マニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
9．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 下記の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、 厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　200μg/m3 ・ 0.20ppm） 測定する室等：（　特別教室他監督員の指示による　　） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。
10．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
⑪. 建築基準法による風圧力等の指定	

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
・ 長尺金属板葺　・ 折板葺 ・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木 ・ ガラスブロック・ ＡＬＣ外壁パネル ・ 押出成形セメント板外壁パネル ・ 重量シャッター・ 軽量シャッター ・ オーバーヘッドドア	風速(V0)　※３０　・ 地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ 多雪地域の指定　・有　・無

⑫. 設計G.L.	※ 図　示　　・ 現状平均地盤高
⑬. 技　能　士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	⊙該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工（型枠工事作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・とび（とび作業） ・鉄工（構造物鉄工作業）
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）
木工事	・建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）
金属工事	・内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ・建築板金（内外装板金作業） ・バルコニー施工（金属バルコニー工事作業）
左官工事	・左官（左官作業）
建具工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業）
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上工事作業　　）
	・表装（壁装作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　　）
植栽工事	・造園（造園工事作業）

⑭. 完成図等	※ 作成する。 ※ 完成図２つ折製本（黒表紙金文字入）A1：0部　A3：2部 ※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 CADデータをCD-Rにて提出　　CD 3 枚 ※ 施工計画書・施工図　提出部数 3部（監理者経由監督員承認用 2部、内一部現場返却用）
⑮. 完成写真	※ 作成する　　・ 作成しない

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提出様式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※完成写真程度 ・外部 5箇所 内部 10箇所	※１部 ・　部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ・フリーアルバム （台紙寸法323×270程度） ・

⑯. 設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
⑰. 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡し＋14日
①. 仮囲い	※ 設ける　　・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ⊙ジャバラゲート（H=2000，W=3600）×　2箇所
②. 危害防止	※ シート張り　・ 金網養生
3．交通誘導員	・ 配置する（　日　×　人　＝　人日）　・ 配置しない
④. 揚重機械器具	・ トラッククレーン（　ｔ吊り）×　日 ・　（　ｔ吊り）×　日
⑤. 監督職員事務所休憩場・倉庫	・ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ※ 設ける（規模　1号 10㎡程度　請負者事務所と同棟　※可　・否） 備品（　　）
⑥. 工事表示板	※ 設置する（設置枚数　１枚）　・ 設置しない
7．事業コスト表示板	・ 設置する（設置枚数　　１枚　・　枚）　※ 設置しない
⑧. 工事用水	構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　・ 利用できない
⑨. 工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　・ 利用できない
10．工事用通路	・ 指定しない　※ 指定する（図示）
⑪. 足場等	・足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省令和5年策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。 ・
12．その他の仮設	
①. 埋戻し及び盛土の種別	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　　㎥ 発生場所
②. 建設発生土の処理	※ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ※ 構内指示の場所に敷きならす（既存トイレ跡地敷込み） ・ 構内指示の場所にたい積する。 ・ 設置する　・設置しない ・ 存置する　・存置しない
3．山　留　め	
1．既製コンクリート杭・鋼杭地業	杭の種類 ・ プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品） ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ・ 鋼杭（JIS表示承認製品）　・鋼管ぐい　・H形鋼ぐい

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	○					

継　手	※ アーク溶接継手又は建築基準法の ・ 規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状	・閉塞平坦型　・開放型
杭の施工法	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋込杭工法 （旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類	ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定	・ 行う　※ 行わない
コンクリートの種別 掘削工法	・ Ａ種　・ Ｂ種 ・ アースドリル工法　※ 安定液使用 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない
3．地盤改良	工　法（・　　）
4．床下防湿層	・ 設ける　地中梁がある場合は、250mm折り下がりとする。 ⊙ 設けない
⑤. 土間スラブ（土間コン）下断熱材	・ 設ける　Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種b 厚25mm＋砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。 ⊙ 設けない
⑥. 砂利地業	※ 再生クラッシャラン　・（　　）
①. 鉄筋の種別	

規　格　名　称	種　類　の　記　号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※　ＳＤ２９５Ａ	※　Ｄ１６以下
	※　ＳＤ３４５	※　Ｄ１９以上

2．溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100 使用箇所（　　）
③. 鉄筋の継手	

接　合　方　法	径(mm)	施　工　箇　所
※　重ね継手	Ｄ１６以下	
※　ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	

施　工　箇　所　等	

⑤. 各部配筋	各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書による
6．柱の帯筋	※ Ｈ形　・ Ｗ－Ｉ形　・ＳＰ形
7．耐震壁を除く壁の開口部補強	・ Ａ形　※ Ｂ形
8．はり貫通孔の補強	補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型
9．圧接完了後の圧接部の試験	試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張試験
①. レディーミクストコンクリート	種　別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。（構造体コンクリートのみ） （アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験） ・コンクリート単位水量測定を実施する。
②. 設計基準強度	普通コンクリート（JIS A 5308のJIS表示認証製品）

Ｆｃ　(N/mm２)	適　用　箇　所
・ ２４	
※ ２１	
・ １８	

③. スランプ	基礎，基礎梁，土間スラブ　※ １５cm　・ １８cm 柱，梁，スラブ，壁　※ １８cm
4．打放し仕上げの種類	

種　別	施　工　箇　所
・ Ａ 種	
※ Ｂ 種	
・ Ｃ 種	

⑤. セメントの種類	

セメントの種類	適用箇所
※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種	建物躯体（下記以外）
・ 高炉ｾﾒﾝﾄB種	基礎、地中梁
・ ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種	基礎、地中梁

備　考		設計年月日	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事
		縮尺	図面名称 特　記　仕　様　書　1

図面番号 A／02

⑥ コンクリート工事

⑥ 型枠

せき板の種類	板　厚(mm)	適用箇所	備　考
※ 合　板	※ １２　・		
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

ＭＣＲ工法用シート　※　適用しない　　・　適用する

・　ひび割れ誘発目地の位置，形状，寸法　　※　図示

７．軽量コンクリート

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積質量（ｔ／m3）

８．寒中コンクリート

初期養生期間　コンクリート圧縮強度が５Ｎ/mm２に達するまで行うこと。

９．無筋コンクリート

コンクリートの種類	適　用　範　囲
※普通コンクリート	
・	・

10．流動化コンクリート

コンクリートのスランプ

種　別	ベースコンクリート(cm)	流動化コンクリート(cm)
普通コンクリート	・１０　・１２　・１５	・１８　・２１

⑦ 金属工事

① あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験　・　行う　⊙　行わない

⑧ 舗装工事

１．再　生　材

※　使用する　・　使用しない

２．盛土材料

路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

３．フィルター層及び凍上抑制層用材料

フィルター層　※　砂

凍上抑制層　※　再生クラッシャラン　・　切込砂利又は切込砕石

４．路床安定処理

路床安定処理添加材料

※　普通ポルトランドセメント　・　高炉セメントＢ種

・　フライアッシュセメントＢ種

・　生石灰（・特号　・１号）　・　消石灰(・特号　・１号)

５．砂の粒度試験

※　行わない　・　行う

６．路床土の支持力比（ＣＢＲ)試験

※　行わない　・　行う（※　乱した土　・　乱さない土）

７．路床の締固め度の試験

・　行わない　※　行う（箇所:埋戻し及び盛土部）

８．路盤材料

※　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０
　（透水性舗装の場合を除く）

・　クラッシャラン　Ｃ－４０

・　クラッシャランスラグ　ＣＳ－４０

９．路盤の締固め度の試験

※　行う

10．アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類

表　層	※	再生密粒度アスファルト混合物（１３）	舗装の厚さは図示による
	・	密粒度アスファルト混合物（１３）	
	・	細粒度アスファルト混合物（１３）	
	・		
基　層	※	再生粗粒度アスファルト混合物（２０）	
	・	粗粒度アスファルト混合物（２０）	
	・		

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする

アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う

11．コンクリート舗装

早強ポルトランドセメント　・　使用する ※　使用しない

溶接金網　※　あり　・　なし

12．カラー舗装

種　類		部　位	厚　さ(mm)
加熱系	※　アスファルト混合物	・　車道部　・　歩道部	図示による
	・　石油樹脂系混合物	・　車道部　・　歩道部	
	・　ニート工法	・　車道部　・　歩道部	３～５
常温系	・　塗布工法	・　車道部　・　歩道部	１程度以下

着色骨材・自然石（　　）

９．解体工事

①．解体工法

※　解体工法は，低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ，防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。

※　解体方法及び手順は，「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第２条）」による。

②．施工計画書　工事申請届等

⊙工程表・施工計画書・仮設計画書等は，工事契約後速やかに監督職員に提出し，承諾を得ること。

⊙工事着工前に施工者により、届出を関係省庁に行うこと。

３．杭

杭の解体

・　行う　（※杭頭から　　ｍまで　　・全長　）

杭の解体工法

・　引き抜き工法　（・　振動　　・　ケーシング　　・　　）

・　粉砕による解体

４．樹木等

樹木の伐採伐根　　・　行う（図示による）

樹木の移植　　・　行う（図示による）

⑤．地下埋設物の埋設配管等

地下埋設物及び埋設配管の解体（解体工事に支障のある配管・配線の切離し）

⊙　行う

⑥．解体後の整地

解体後の埋戻し及び盛り土

⊙　行う

埋戻し及び盛土の材料

・　Ａ　種　※　Ｂ　種　・　Ｃ　種　・　Ｄ　種

・　構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの（粒径４０mm以下）を使用する。

埋戻し範囲　・　図示による

⊙　砕石 CL 0～40 t=50

整地の高さ　・　現状ＧＬ

・　図示による

７．建設発生土の処理

・　構内指示の場所に敷きならす。

・　構内指示の場所にたい積する。

・　構外指示の場所に搬出する。

受入れ施設名・所在地（km）

８．有害物質含有調査

・　土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有を調査する。

調査範囲及び項目　※図示

10．建設廃棄物の処理

１．再資源化等

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地（ｋｍ）
・コンクリート		
・コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・アスファルト、コンクリート		
・木材		
・金属類		
・小形二次電池		

[4.4.1]

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地（ｋｍ）
・蛍光ランプ HIDランプ	・する ・しない		
・硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・する ・しない		
・ガラス	・する ・しない		

現場利用する再資源化された建設廃棄物　[4.4.1]

種　類	利用する場所(箇所)等

※　鉄筋コンクリートを現地で破砕し，再生材クラッシャラン（0～40）として利用する場合は，標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシャランによることとし，すりへり減量を50%以下にすること。

２．産業廃棄物広域認定制度の活用

種　類	所在地等（ｋｍ）

３．最終処分

・（安定型）

種　類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考

・（管理型）（遮断型）

種　類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考

１～３の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。

また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

４．処分に注意を要する建設廃棄物

種　類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考
・CCA処理木材			
・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード			
・			

＜対象となる石膏ボード＞

小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの

日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの

11．特別管理産業廃棄物処理

１．施工調査

材　料　名	仕様等（型式、厚さ、数量）	調査の範囲
		※　図示
		・　工事対象範囲

２．特別管理産業廃棄物等の処理計画

※　種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する。

特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等（ｋｍ）
・　廃石綿		

３．PCBを含む機器類等

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・　有（数量は図示）　・　無

PCB含有シーリング材　・　有（施工範囲は図示）　・　無

PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管事業者に引き渡す。

４．特殊な建設副産物の回収及び処分

回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
・フロン			
・ハロン			
・イオン化式感知器			
・六フッ化硫黄(SF6)ガス			

12．アスベスト含有建材の除去

① 石綿含有建材の除去工事

施工調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲　⊙建物全体　　・図示　　）

貸与資料（　⊙　事前調査報告書　　）

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材　料　名	定性分析方法 JIS A 1481 または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり３サンプル

採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定

測定点　測定時期、場所及び測定箇所数

適用	測定名称	測　定　時　期	測　定　場　所	測定個所数
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定４		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置
・	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定８	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　点
・	測定９		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法

・自動測定器による測定

測　定　名　称	測　定　方　法
・測　定　４ ・測　定　５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測　定　名　称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定４　・ ・測定５	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲　・図示　・

除去工法　・

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去

除去対象範囲　・図示　・

除去工法　・破砕して除去　・手ばらし

除去した石綿含有保温剤等の飛散防止

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有成形板の除去

除去対象範囲　・図示

除去した石綿含有成形板の処分

⊙石綿含有せっこうボード

※埋立処分（管理型最終処分場）

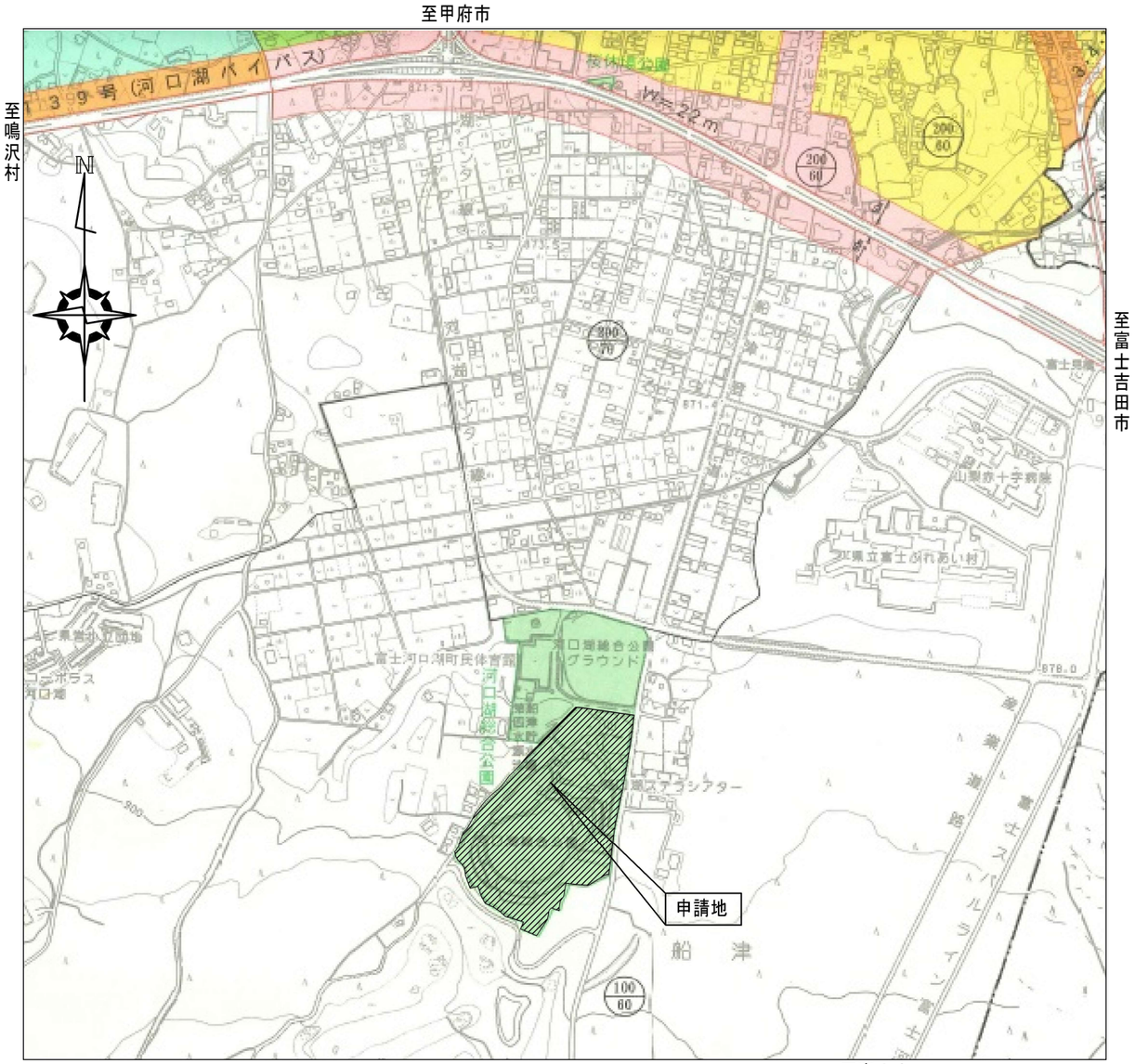
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板

・埋立処分（安定型最終処分場）

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

備　考	設計年月日	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	図面番号
	縮尺	図面名称 特　記　仕　様　書　2	A／03



付　近　見　取　図

S=1/10000

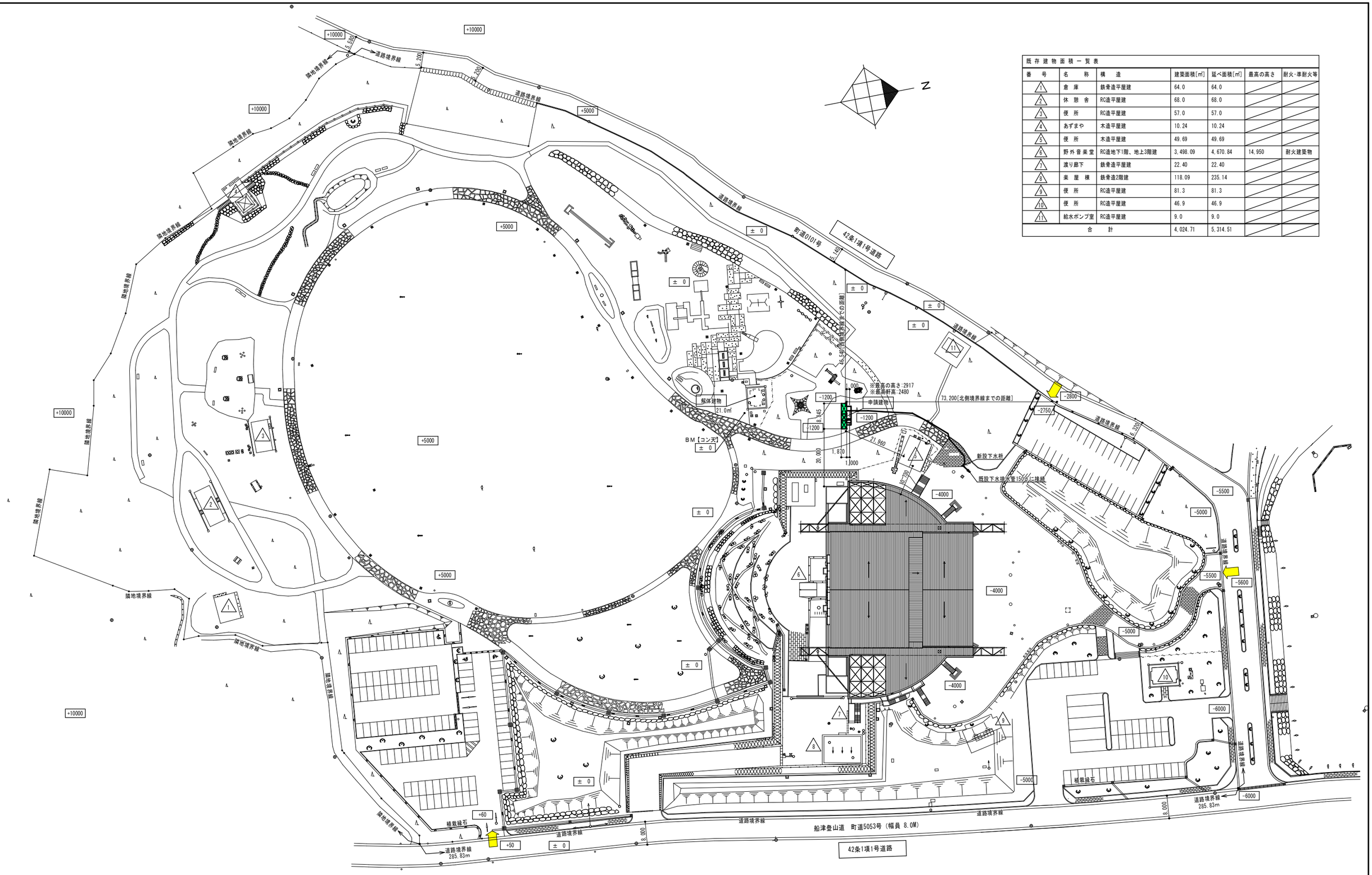
申請地：南都留郡富士河口湖町船津字下六本松（57筆）

5558, 5557, 5560-1, 5560-2, 5561, 5562-2, 5564-1, 5564-2, 5564-3, 5564-4, 5564-5, 5564-6, 5565, 5570-1, 5570-2, 5570-3, 5570-4, 5570-5, 5571, 5572, 5573, 5574-1, 5574-2, 5575, 5576, 5577, 5578-1, 5578-2, 5578-3, 5579, 5580-1, 5580-2, 5581, 5582-1, 5582-2, 5583-1, 5583-2, 5584, 5585-1, 5586-1, 5586-2, 5587, 5588, 5593-1, 5593-2, 5593-3, 5597-1, 5598-1, 5599, 5603-1, 5603-2, 5603-3, 5604-1, 5604-3, 5605-1, 5605-2, 5606

付　近　見　取　図

S=1/3500

備　考	設計年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 S=1/3000 S=1/25000	河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	A 04
		図面名称 付　近　見　取　図	



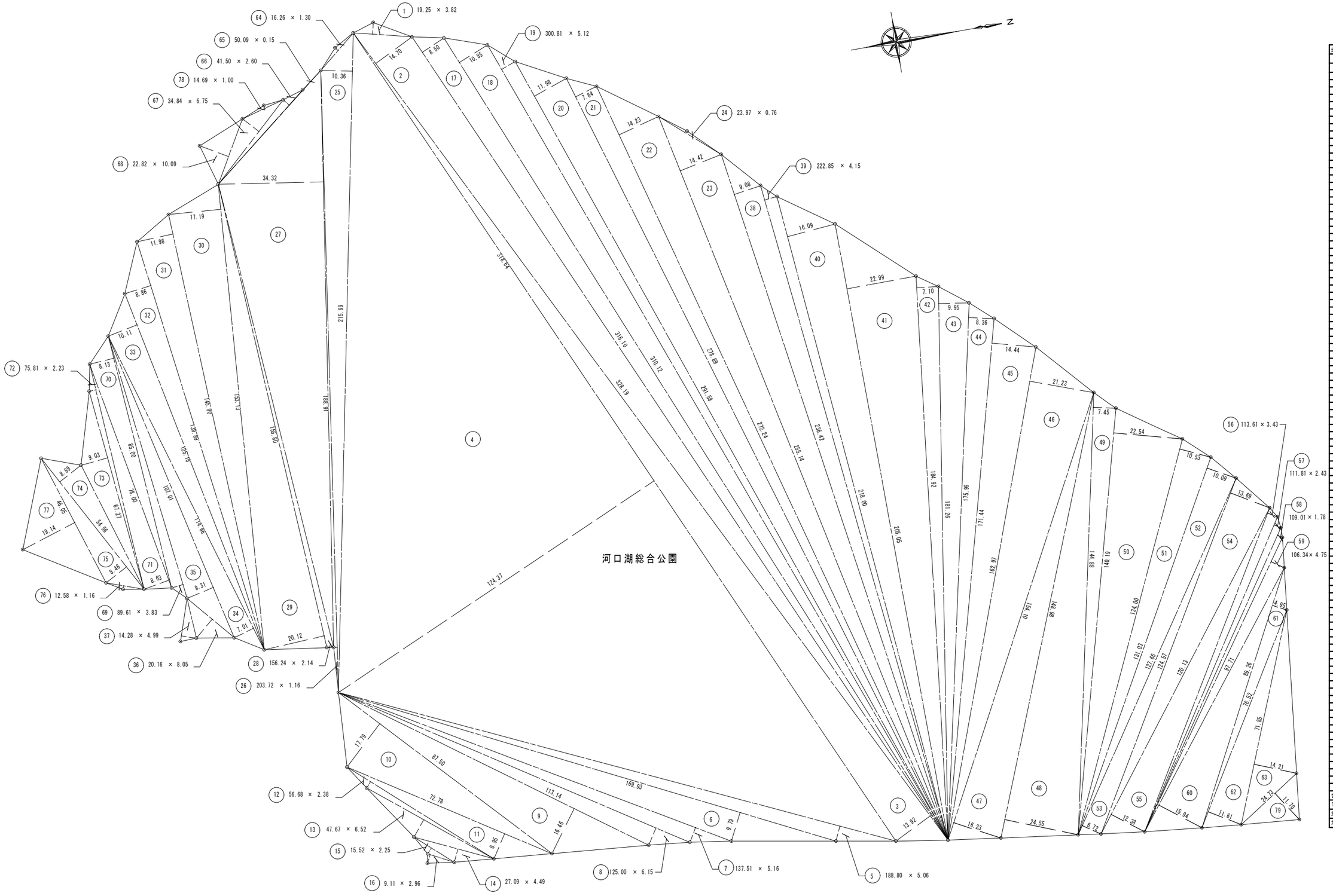
既存建物面積一覧表						
番号	名称	構造	建築面積[㎡]	延べ面積[㎡]	最高の高さ	耐火・準耐火等
1	倉庫	鉄骨造平屋建	64.0	64.0		
2	休憩舎	RC造平屋建	68.0	68.0		
3	便所	RC造平屋建	57.0	57.0		
4	あずまや	木造平屋建	10.24	10.24		
5	便所	木造平屋建	49.69	49.69		
6	野外音楽堂	RC造地下1階、地上3階建	3,498.09	4,670.84	14,950	耐火建築物
7	渡り廊下	鉄骨造平屋建	22.40	22.40		
8	楽屋棟	鉄骨造2階建	118.09	235.14		
9	便所	RC造平屋建	81.3	81.3		
10	便所	RC造平屋建	46.9	46.9		
11	給水ポンプ室	RC造平屋建	9.0	9.0		
合計			4,024.71	5,314.51		

全体配置図

※ー法19条における敷地の衛生及び安全について安全性に支障なし
※ー水道法16条、適合
※ー排水設備の構造については、下水道法施行令（昭和３４年政令第１４７号）第８条の基準によるものとする

記事	月日
	月日
	月日
	月日

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	設計番号
縮尺 A1：S=1/600 A3：S=1/1200	製図	担当	承認年月日	図面名称 全体配置図	図面番号 A-05

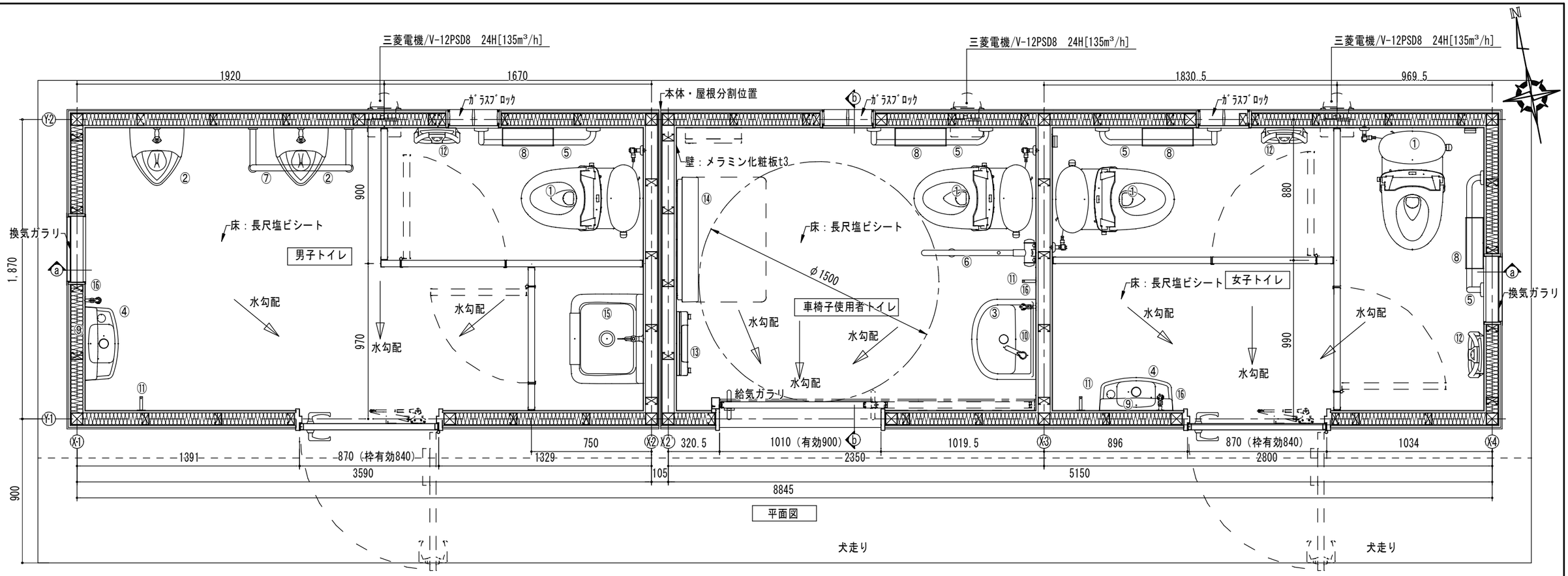


求　　積　　図

地番	河口湖総合公園		
所有者	富士河口湖町		
NO	底辺	高さ	倍面積
1	19.25	3.82	73.5350
2	328.19	14.70	4824.3930
3	328.19	13.92	4568.4048
4	318.64	124.37	39629.2568
5	188.80	5.06	955.3280
6	169.93	9.79	1663.6147
7	137.51	5.16	709.5516
8	125.00	6.15	768.7500
9	113.14	16.46	1862.2844
10	87.50	17.79	1556.6250
11	72.78	8.95	651.3810
12	56.68	2.38	134.8984
13	47.67	6.52	310.8084
14	27.09	4.49	121.6341
15	15.52	2.25	34.9200
16	9.11	2.96	26.9656
17	316.10	8.50	2686.8500
18	310.12	10.85	3364.8020
19	300.81	5.12	1540.1472
20	291.58	11.98	3493.1284
21	278.89	7.64	2130.7196
22	272.24	14.23	3873.9752
23	255.14	14.42	3679.1188
24	23.97	0.76	18.217200
25	215.99	10.36	2237.6564
26	203.72	1.16	236.3152
27	188.91	34.32	6483.3912
28	156.24	2.14	334.3536
29	155.80	20.12	3134.6960
30	153.13	17.19	2632.3047
31	145.90	11.98	1747.8820
32	139.89	8.86	1239.4254
33	125.18	10.11	1265.5698
34	114.66	7.01	803.7666
35	107.01	9.31	996.2631
36	20.16	8.05	162.2880
37	14.28	4.99	71.2572
38	236.42	9.08	2146.6936
39	222.85	4.15	924.8275
40	218.00	16.09	3507.6200
41	205.05	22.99	4714.0995
42	184.92	7.10	1312.9320
43	181.26	9.95	1803.5370
44	175.99	8.36	1471.2764
45	171.44	14.44	2475.5936
46	162.97	21.23	3.459.8531
47	154.10	16.23	2.501.0430
48	148.98	24.55	3.657.4590
49	144.88	7.45	1.079.3560
50	140.19	22.54	3.159.8826
51	134.00	10.53	1.411.0200
52	131.03	10.09	1.322.0927
53	127.66	6.72	857.8752
54	124.57	13.69	1.705.3633
55	120.13	12.38	1.487.2094
56	113.61	3.43	389.6823
57	111.81	2.43	271.6983
58	109.01	1.78	194.0378
59	106.34	4.75	505.1150
60	97.71	15.94	1.557.4974
61	89.26	4.95	441.8370
62	76.52	11.61	888.3972
63	71.85	14.21	1.020.9885
64	16.26	1.30	21.1380
65	50.09	0.15	7.5135
66	41.50	2.60	107.9000
67	34.84	6.75	235.1700
68	22.82	10.09	230.2538
69	89.61	3.83	343.2063
70	85.00	8.13	691.0500
71	78.00	8.63	673.1400
72	75.81	2.23	169.0563
73	67.27	9.03	607.4481
74	54.56	8.89	485.0384
75	54.56	8.46	461.5776
76	12.58	1.16	14.5928
77	46.05	19.14	881.3970
78	14.69	1.00	14.6900
79	24.73	11.70	289.3410
合計			149.523.9786
1／2			74.761.9893
地積			74.761.98 m2
坪数			22.615.50 坪

記事	月日
	月日
	月日
	月日

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	設計番号
縮尺 A1：S=1/600 A3：S=1/1200	製図	担当	承認年月日	図面名称 求　積　図	図面番号 A-06



仕様表

		仕様	色・品番・加工
外部	屋根	構造:鉄骨下地 片流屋根	
		ガルバリウム鋼板葺き仕上	
	外壁	構造:軽量鉄骨造(ブレス入り)	
		ケイカル板t12+t9下地 弾性吹付塗材	
	建具	引き戸：鋼製ハンガードア アルミガラリ付 大型表示錠・ガラリ・シリンダー錠付・鍵（管理錠）	
		片開ドア：軽量鋼板ﾄﾞｱ ガラリ付	
	換気材	強制換気：換気扇 、 換気ガラリ：アルミ製 網付	
	採光	屋根部FIX窓：ポリカーボネート板t5	
		ガラスブロック：□145 2列2段	
	その他	アルミアルマイトt1.5 +カッティングシート貼	
		非常用電子ブザー付回転灯（車椅子使用者ﾄｲﾚ）	
内部	天井	ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入セメント板	
	内壁	メラミン化粧板t3	
	床	長尺塩ビシート貼（ドライフロアー式）	
	巾木	ソフト巾木 H=75	
	衛生器具	衛生器具表参照	
	その他	トイレブース：メラミン化粧合板フラッシュｔ40	
		SKブース：メラミン化粧合板フラッシュｔ40 、管理錠付	

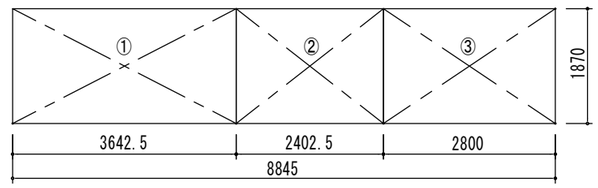
衛生設備

項目	仕様
① 洋風大便器	CS400B+SH400BF+TCF116V6+HE35JR
② 小便器	UFH508CHR+T60B1U
③ 洗面器	L210D+TLS1101J
④ 洗面器	LSL870ASR
⑤ L型手摺	T112CL9;樹脂被覆「SUS304」
⑥ 跳ね上げ手摺	T112HK7R;樹脂被覆「SUS304」
⑦ 小便器手摺	2457-38(カクダイ)
⑧ 紙巻器	YH702
⑨ 化粧鏡	耐食鏡：YM4560FE
⑩ 化粧鏡（バリアフリー）	耐食鏡：YM3580FC
⑪ フック	YKH20R
⑫ ベビーチェア	BK-F62（コンビ）
⑬ フィッティングボード	YKA41R
⑭ ベビーシート	YKA25N
⑮ 清掃用シンク	SK322+T23AEQ20
⑯ 清掃用蛇口	T28AKUH13

※組合せについてはメーカーと協議の上決定する
よって、本図における衛生設備機器の姿図は参考とする

面積表

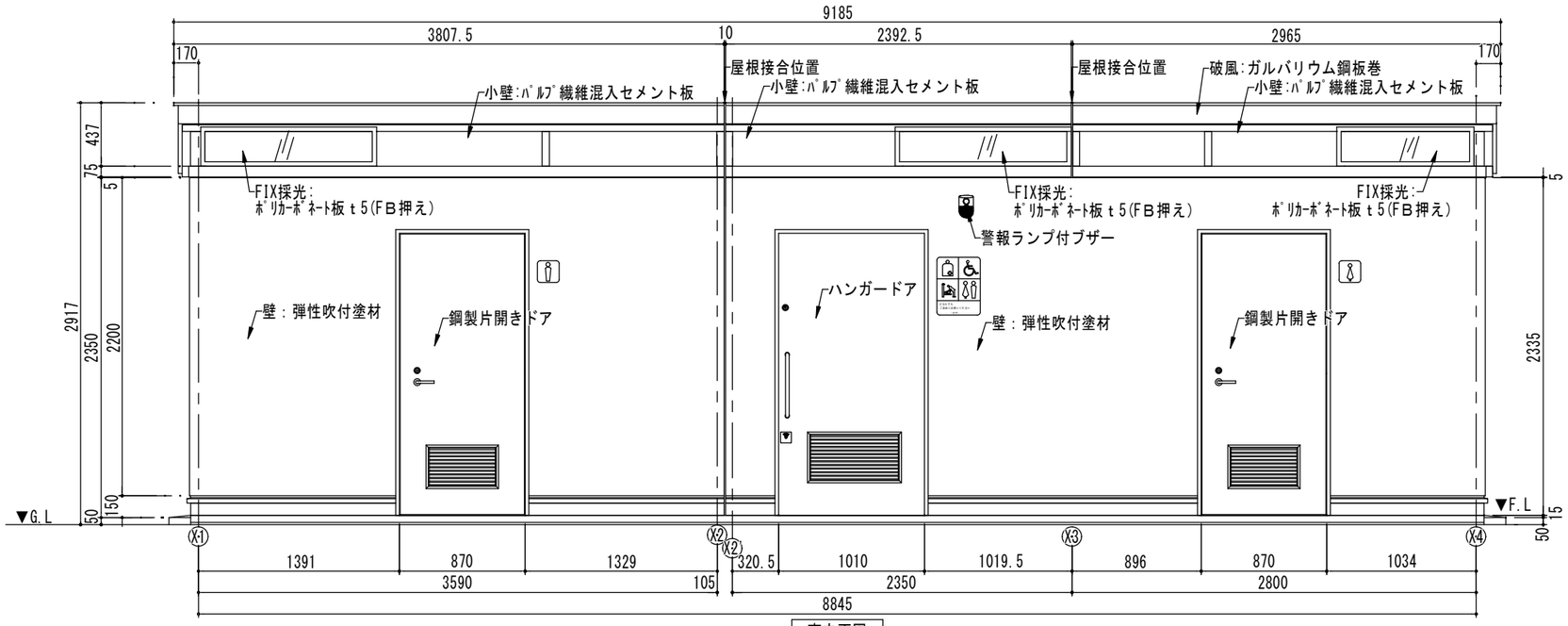
①男子トイレ	1.87x3.6425=6.8115
②車椅子使用者ﾄｲﾚ	1.87x2.4025=4.4927
③女子トイレ	1.87x2.8000=5.2360
建築面積	16.54㎡
延床面積	16.54㎡



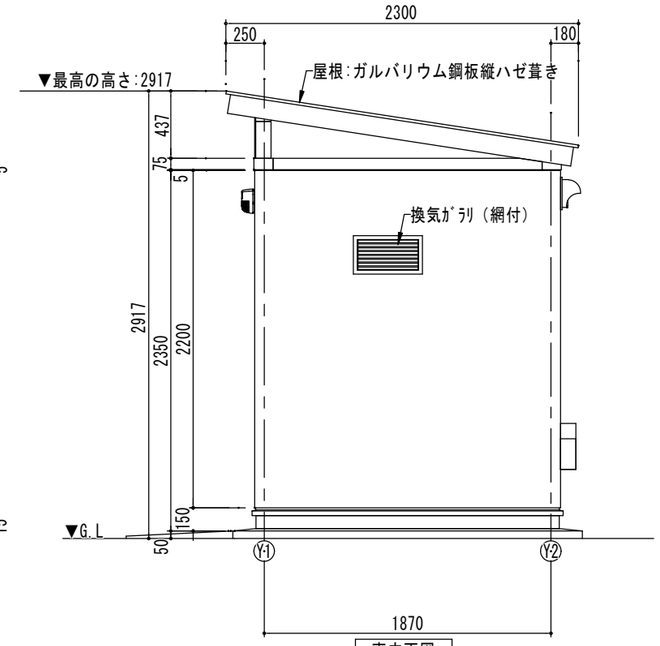
■特記事項

・本体2分割、屋根3分割納入方式とする。
・室内灯は人感センサーによる制御とする。
・鋼材はエポキシ樹脂系錆止め２回塗仕上とする。
・基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ：ＦＣ21Ｎ/mm2
・基礎鉄筋：SD295Aとする。
・給排水・電気設備二次側一式
・本製品は賠償責任保険に加入した製品とする。

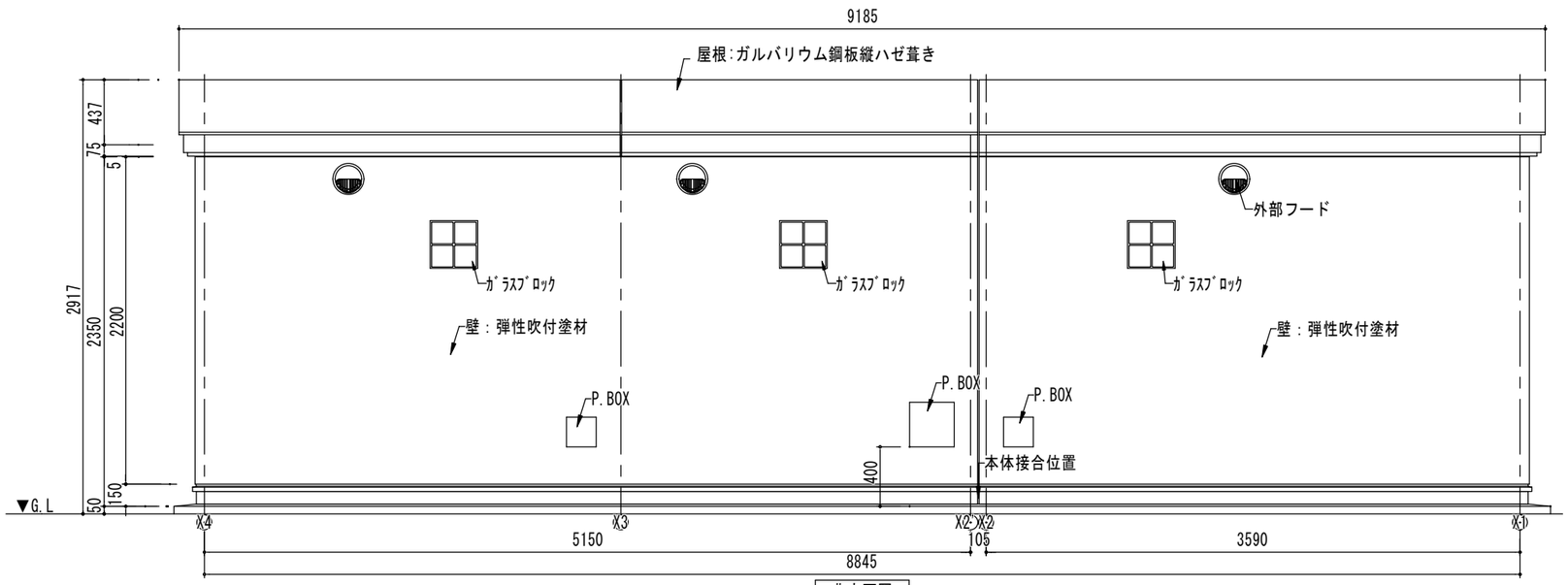
備考	設計年月日	工事名称	図面番号
		河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	A / 07
	縮尺 S=1/25	図面名称 平面図・面積算定表	



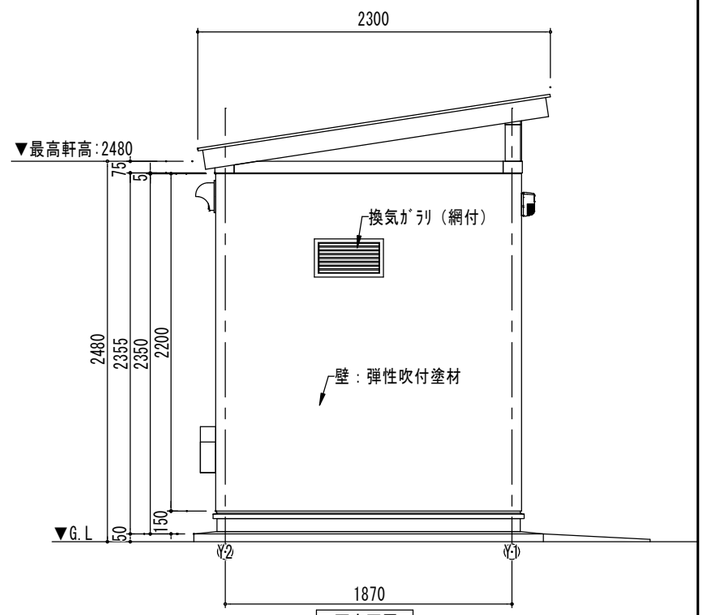
南立面図



東立面図

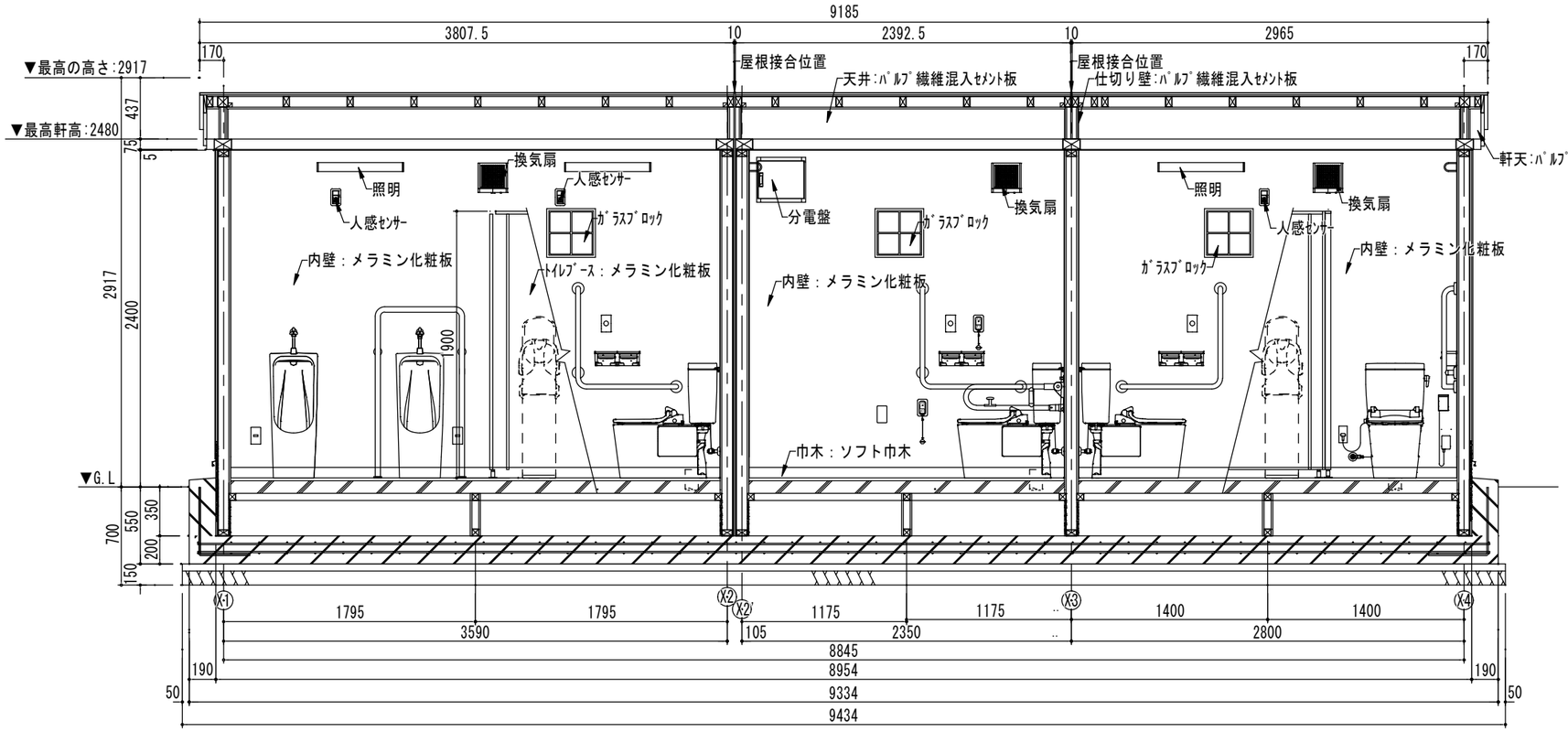


北立面図



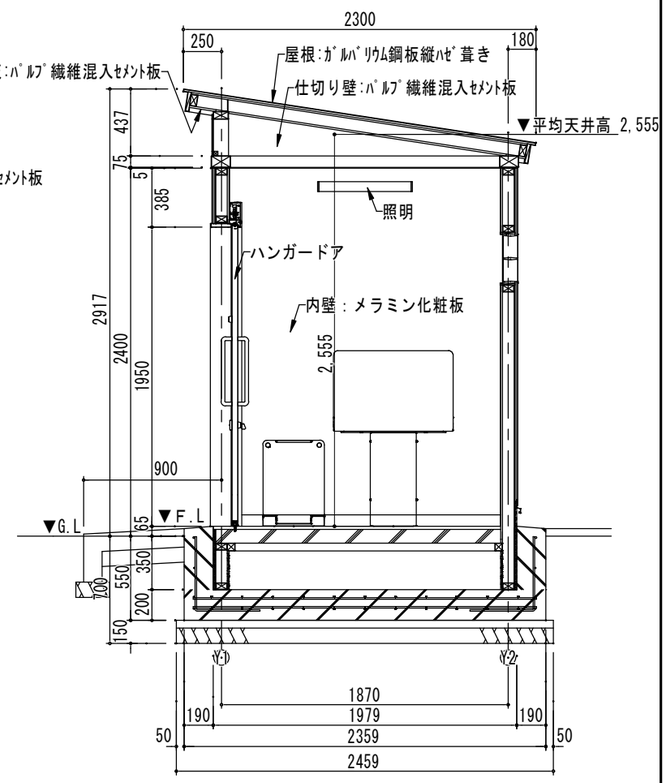
西立面図

備　考		設計年月日	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	図面番号
		縮尺 S=1/40	図面名称 立　面　図	A / 08



a-a断面図

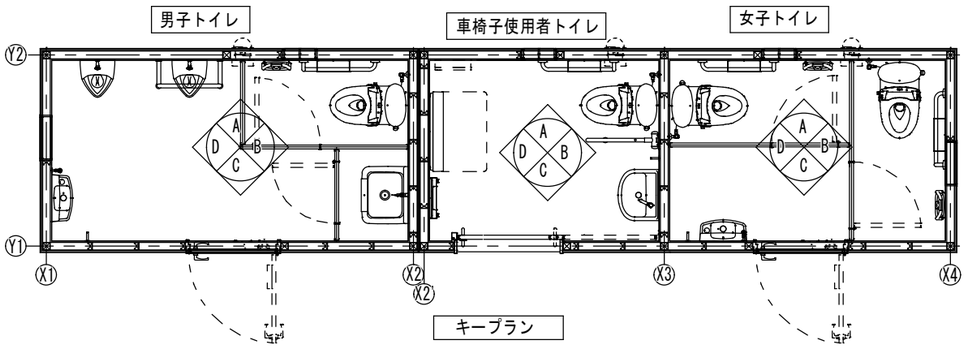
※-構造は検討済



b-b断面図

※-構造は検討済

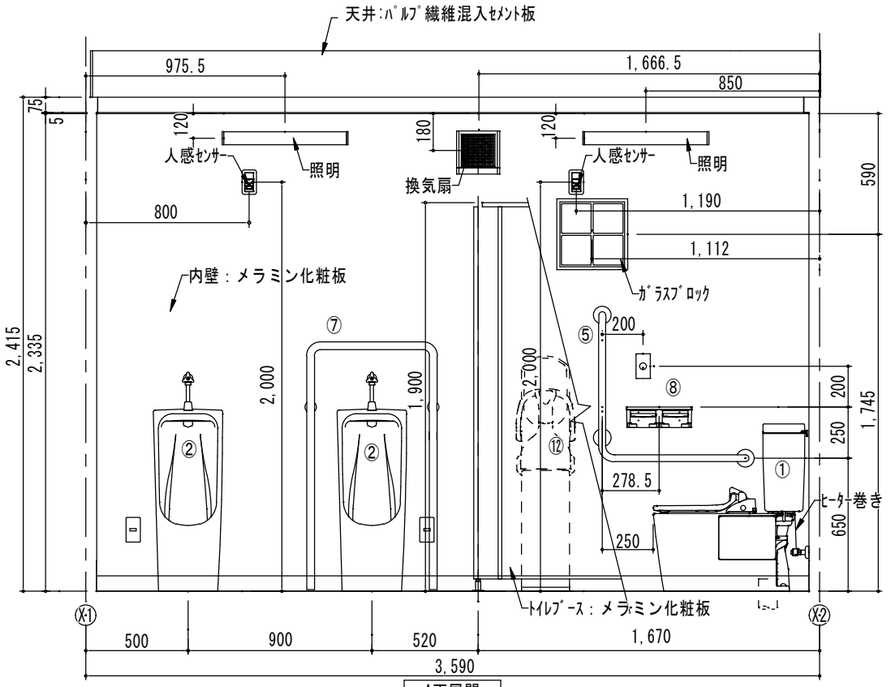
備　考		設計年月日	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	図面番号
		縮尺 S=1/40	図面名称 断　面　図	A / 09



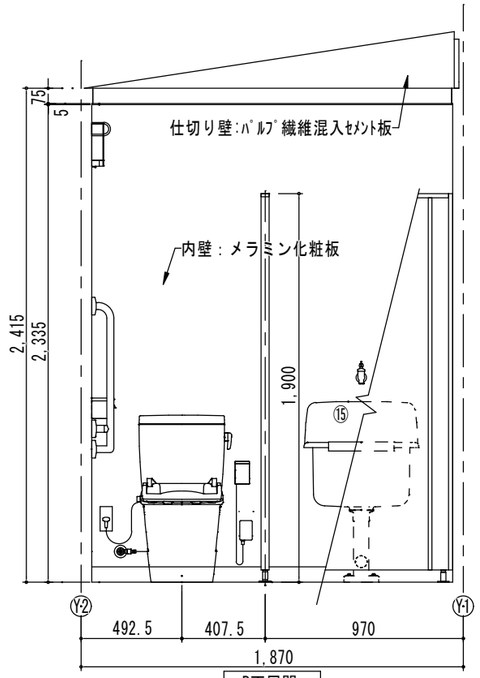
キープラン

衛生設備

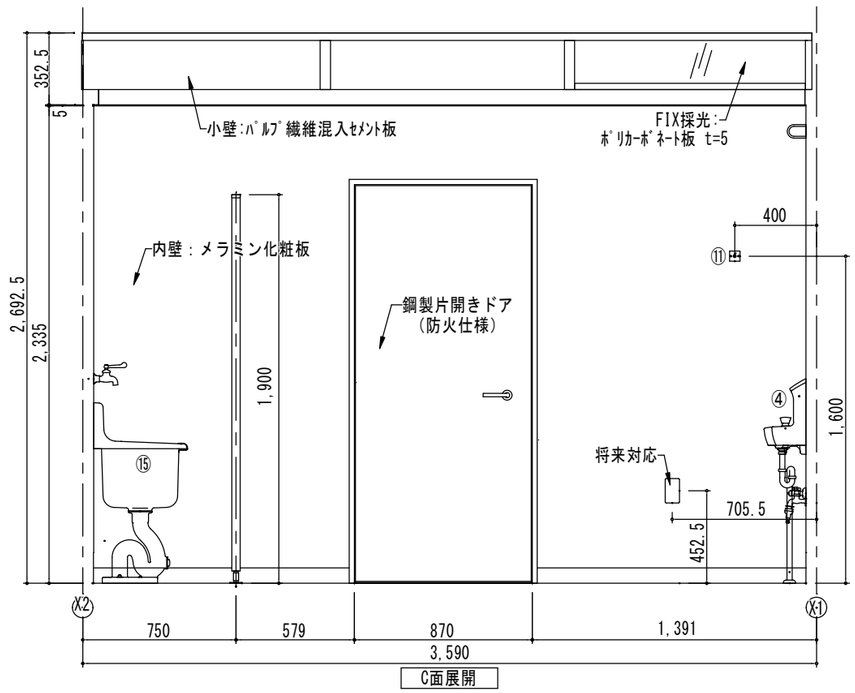
項目		仕様
①	洋風大便器	CS400B+SH400BF+TCF116V6+HE35JR
②	小便器	UFH508CHR +T60B1U
③	洗面器	L210D+TLS1101J
④	洗面器	LSL870ASR
⑤	L型手摺	T112CL9；樹脂被覆「SUS304」
⑥	跳ね上げ手摺	T112HK7R　樹脂被覆「SUS304」
⑦	小便器手摺	2457-38（カクダイ）
⑧	紙巻器	YH702
⑨	化粧鏡	耐食鏡:YM456OFE
⑩	化粧鏡（バリアフリー）	耐食鏡:YM358OFC
⑪	フック	YKH20R
⑫	ベビーチェア	BK-F62（コンビ）
⑬	フィッティングボード	YKA41R
⑭	ベビーシート	YKA25N
⑮	清掃用シンク	SK322+T23AEQ20
⑯	清掃用蛇口	T28AKUH13



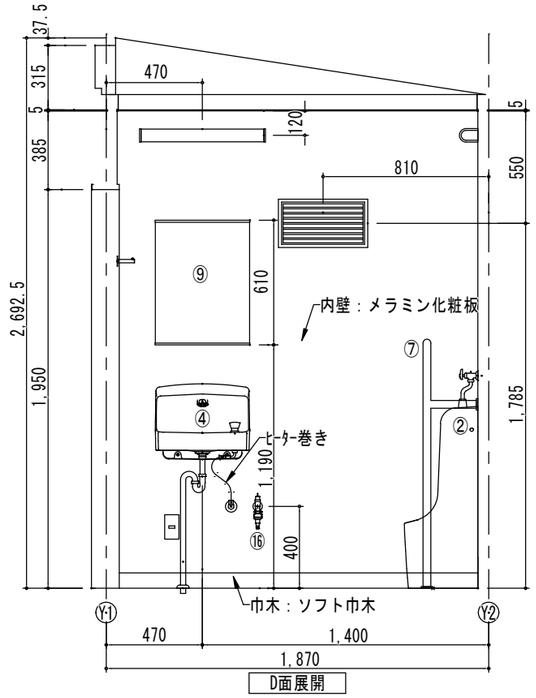
A面展開



B面展開



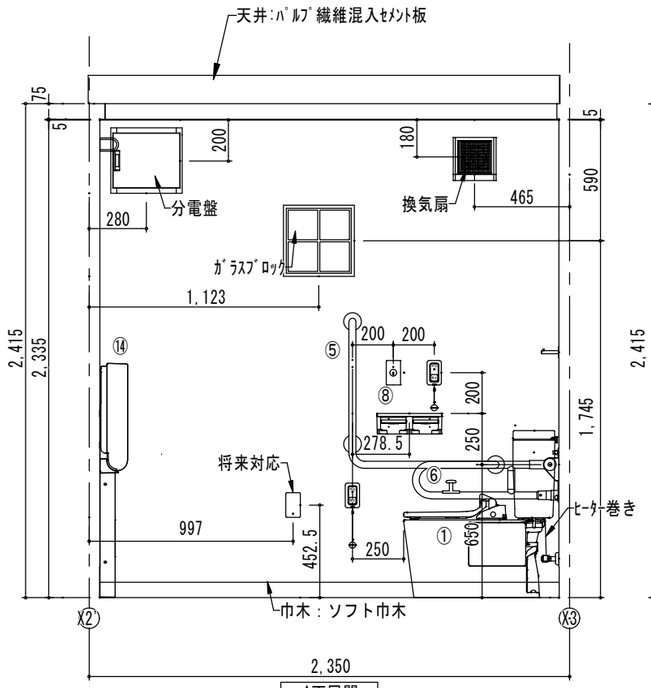
C面展開



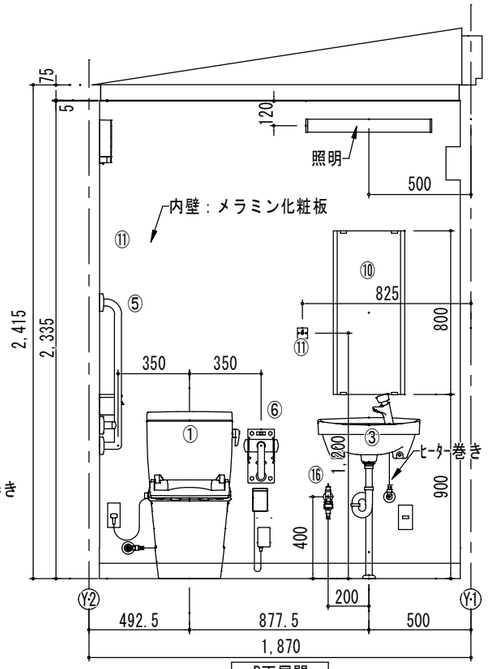
D面展開

備考	設計年月日	工事名称	図面番号
		河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	A／10
	縮尺 S=1/30	図面名称 展開図［1］	

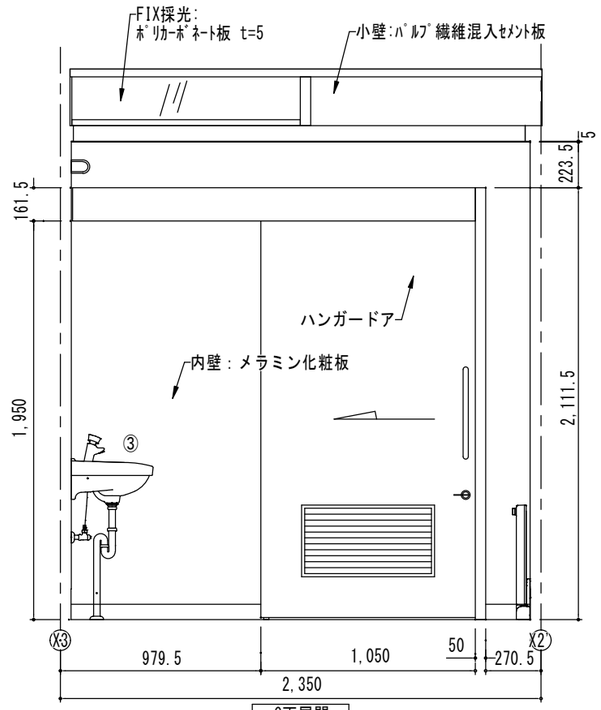
バリアフリートイレ



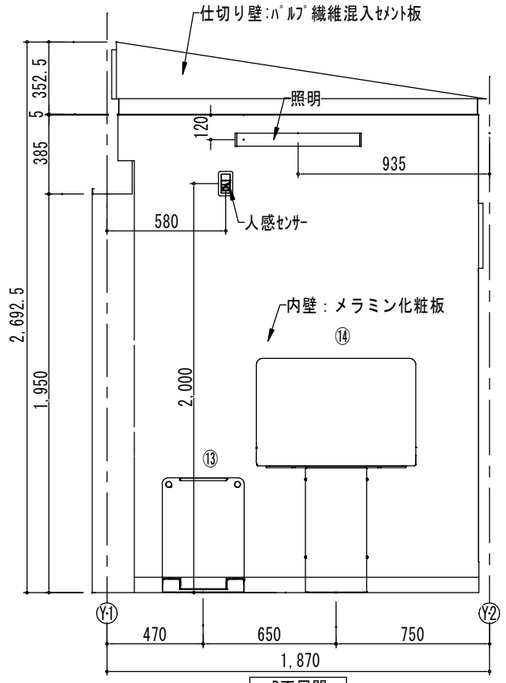
A面展開



B面展開

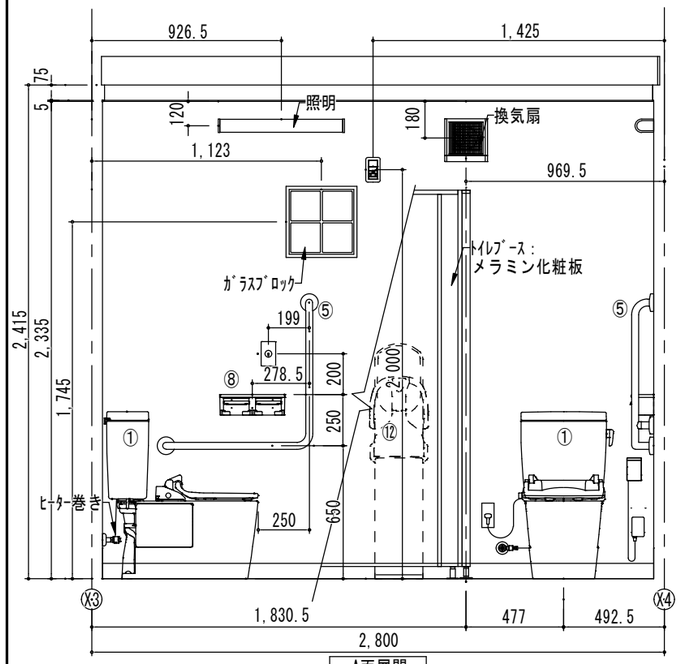


C面展開

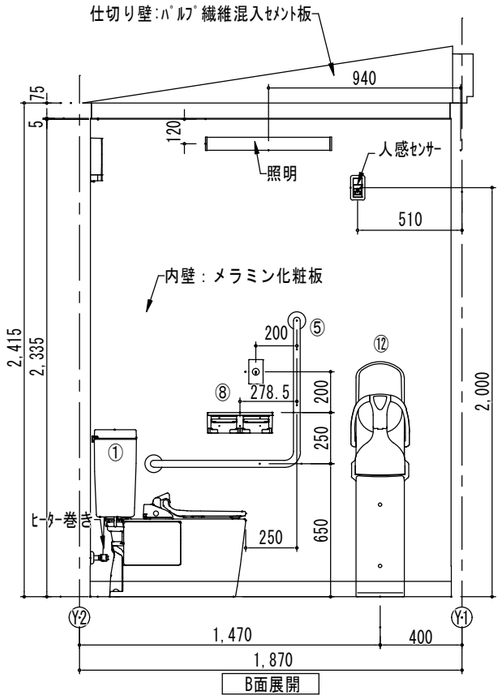


D面展開

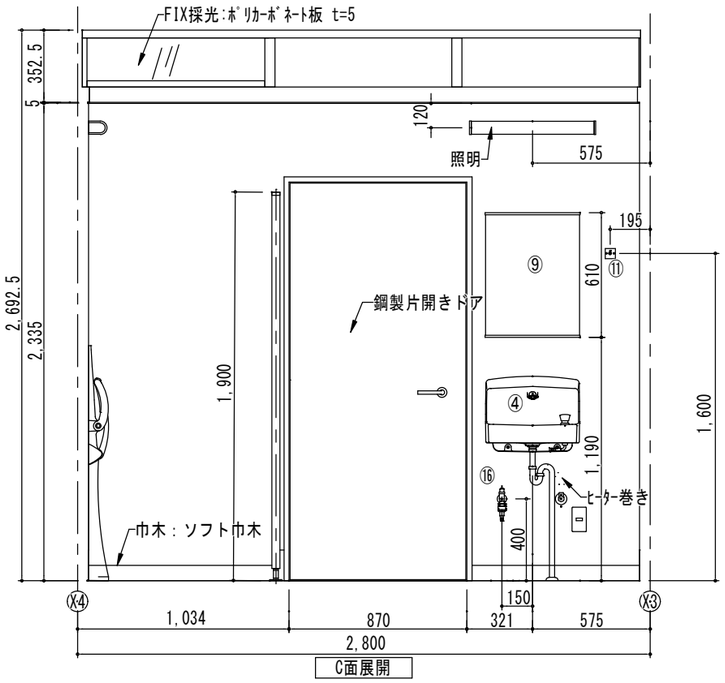
女子トイレ



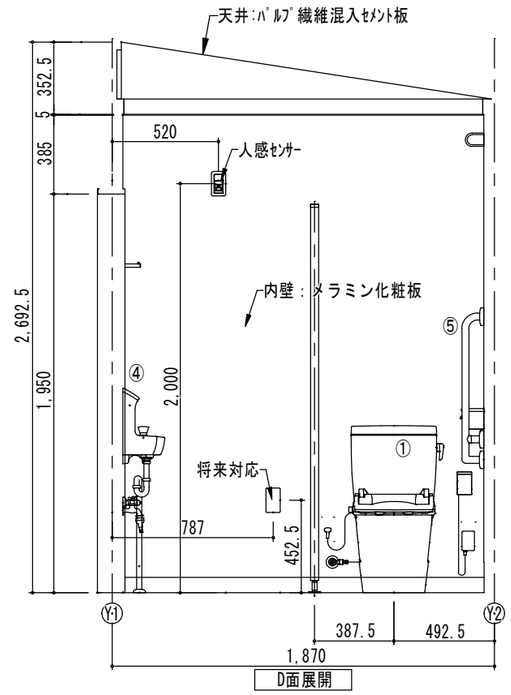
A面展開



B面展開

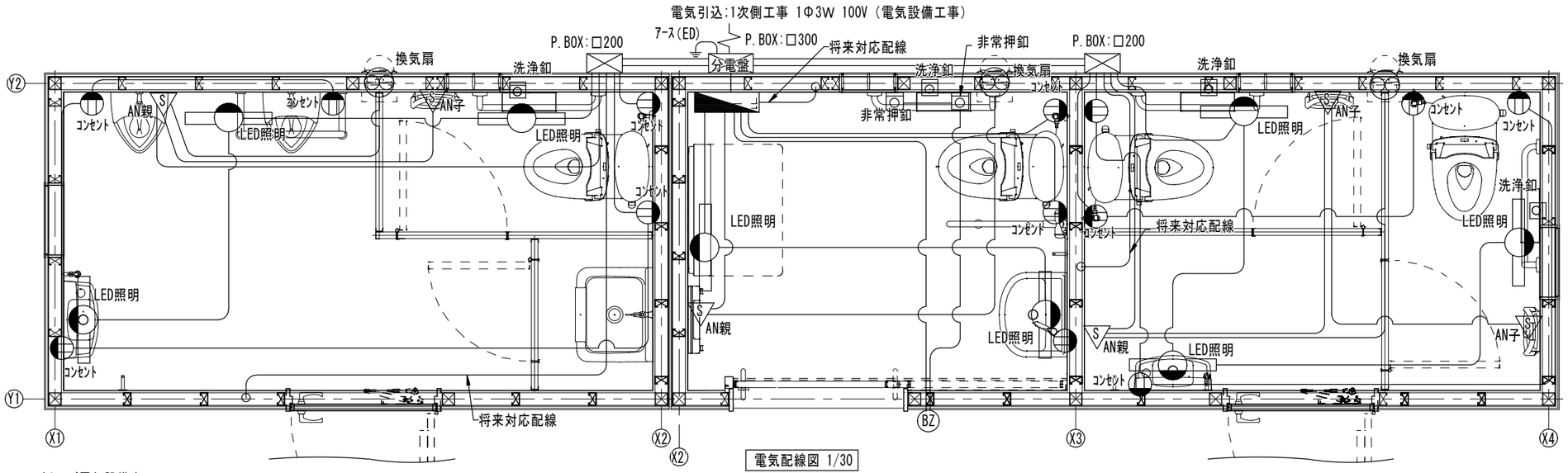


C面展開



D面展開

備　考	設計年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 S=1/30	河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	A / 11
		図面名称 展　開　図　[2]	

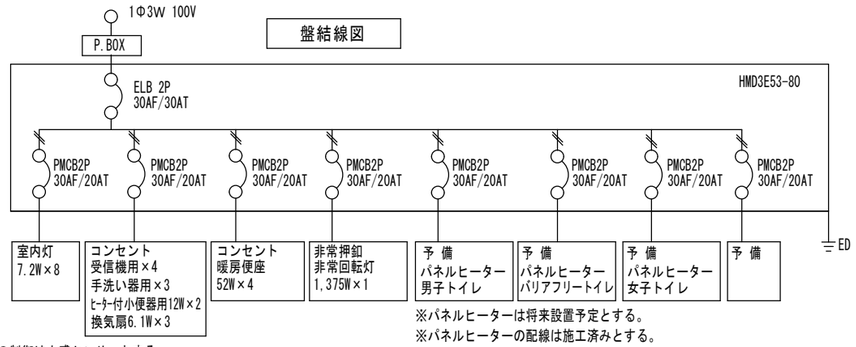


電気配線図 1/30

凡例及び電気設備表

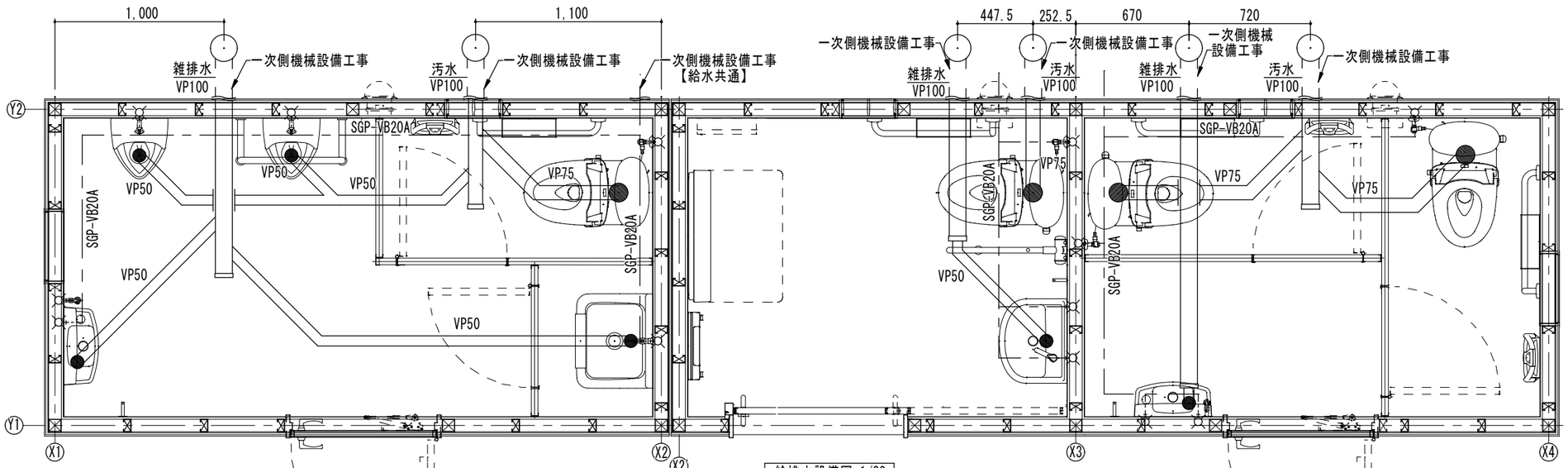
凡例記号	名　称	数量	
	分電盤	1	日東工業/HMD3E53-80
	室内灯	8	オーデリック/OB555091R
	換気扇	3	三菱電機/V-12PSD$_B$ 24H[135m^3/h]
	将来対応配線		将来対応ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ用
S AN親	人感ｾﾝｻｰ親機	3	パナソニック/WTK1411WK
S AN子	人感ｾﾝｻｰ子機	3	パナソニック/WTK1911WK
	洗浄釦	4	TOTO/HE35JR
	非常押釦	2	パナソニック/WS66772
BZ	非常回転灯	1	パナソニック/EA5501
	コンセント	13	
	プルボックス	1	八州電工/SE3010WN
	プルボックス	2	八州電工/SE2010WN

盤結線図



※換気扇の制御は人感センサーとする。
※電気配管は壁内配管として見え掛けりのない配線とする。
※照明・電線等の電材は監督員の承認を得て施工する。

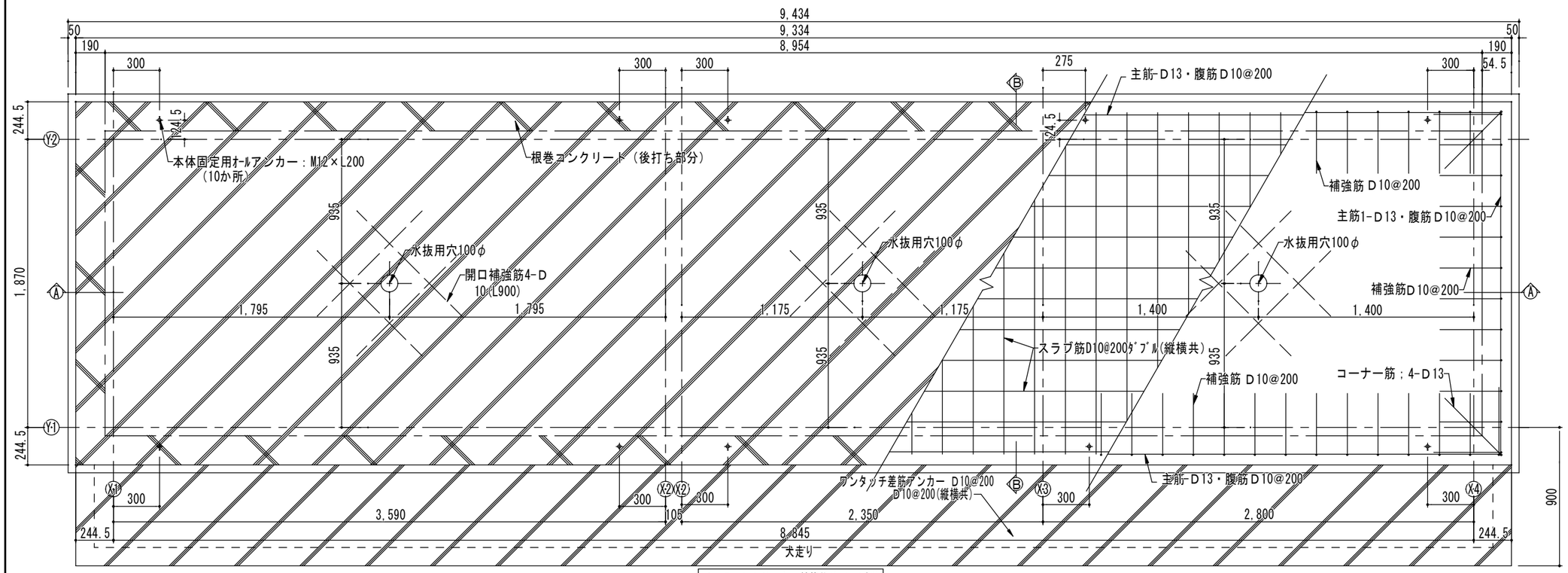
※パネルヒーターは将来設置予定とする。
※パネルヒーターの配線は施工済みとする。
※分電盤内予備回路配線済み（結線はパネルヒーター取付後とする）
※ヒーターの施工範囲は（床下給水管は全て、立上り配管は外壁の断熱材がある部分を除く
断熱材が無い部分はヒーター巻き）オンオフはサーモスタット



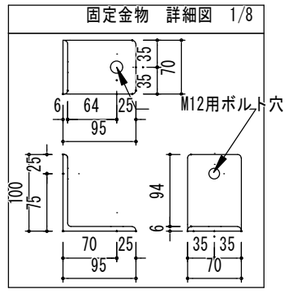
給排水設備図 1/30

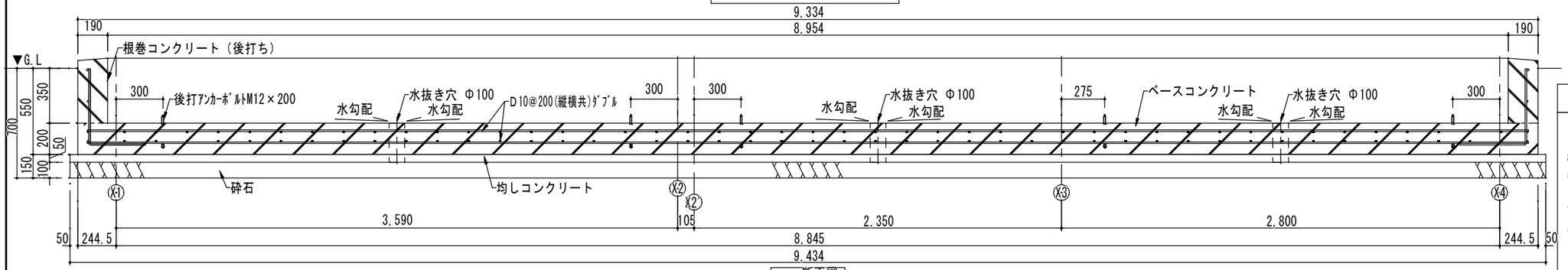
■給排水設備図特記事項
給水管は全てSGP-VBとし、
壁内断熱材のない床下部分
については水道凍結防止帯
（サーモスタッド内臓）巻とする。

備　考	設計年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 S=1/30	河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	A / 12
		図面名称 電 気 ・ 給 排 水 図	

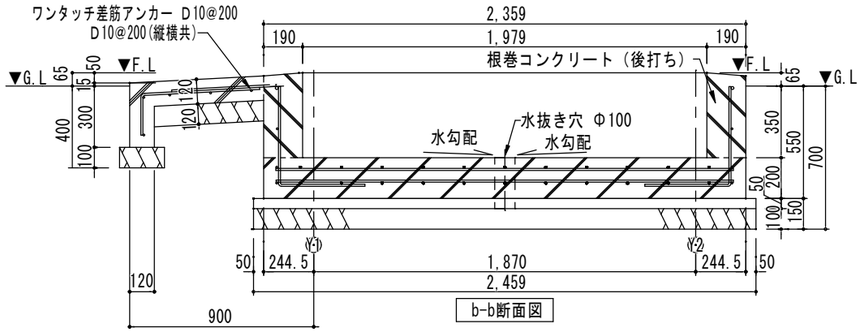


ベースコンクリート・鉄筋伏せ図 1/30





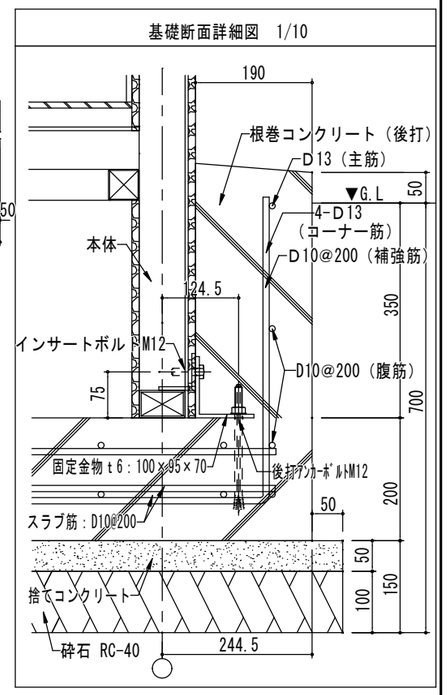
a-a断面図



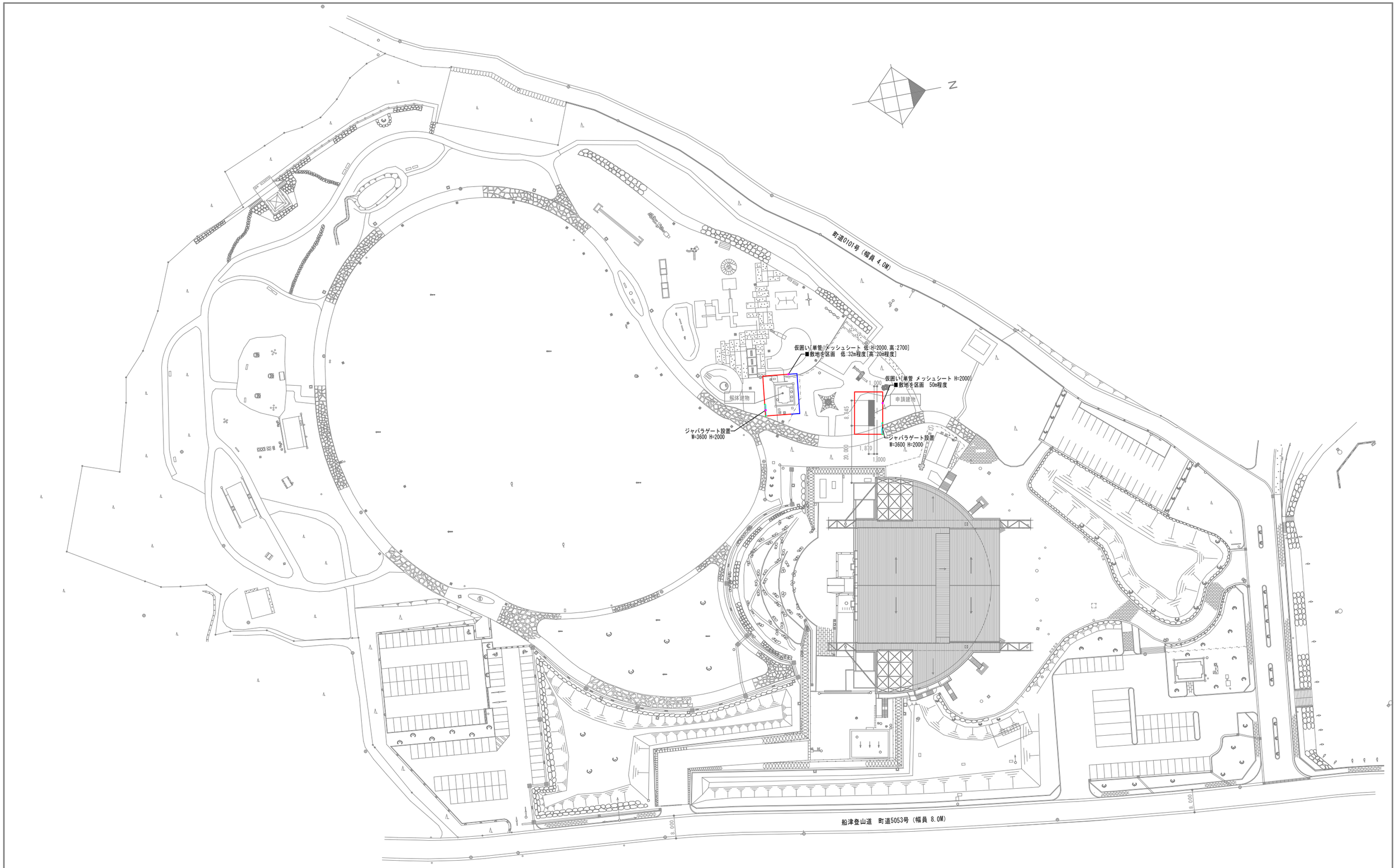
b-b断面図

特記事項

※本体設置前の型枠高さは耐圧盤天端までとする。
※本体設置後に立上りｺﾝｸﾘｰﾄ用型枠を施工する事とする。

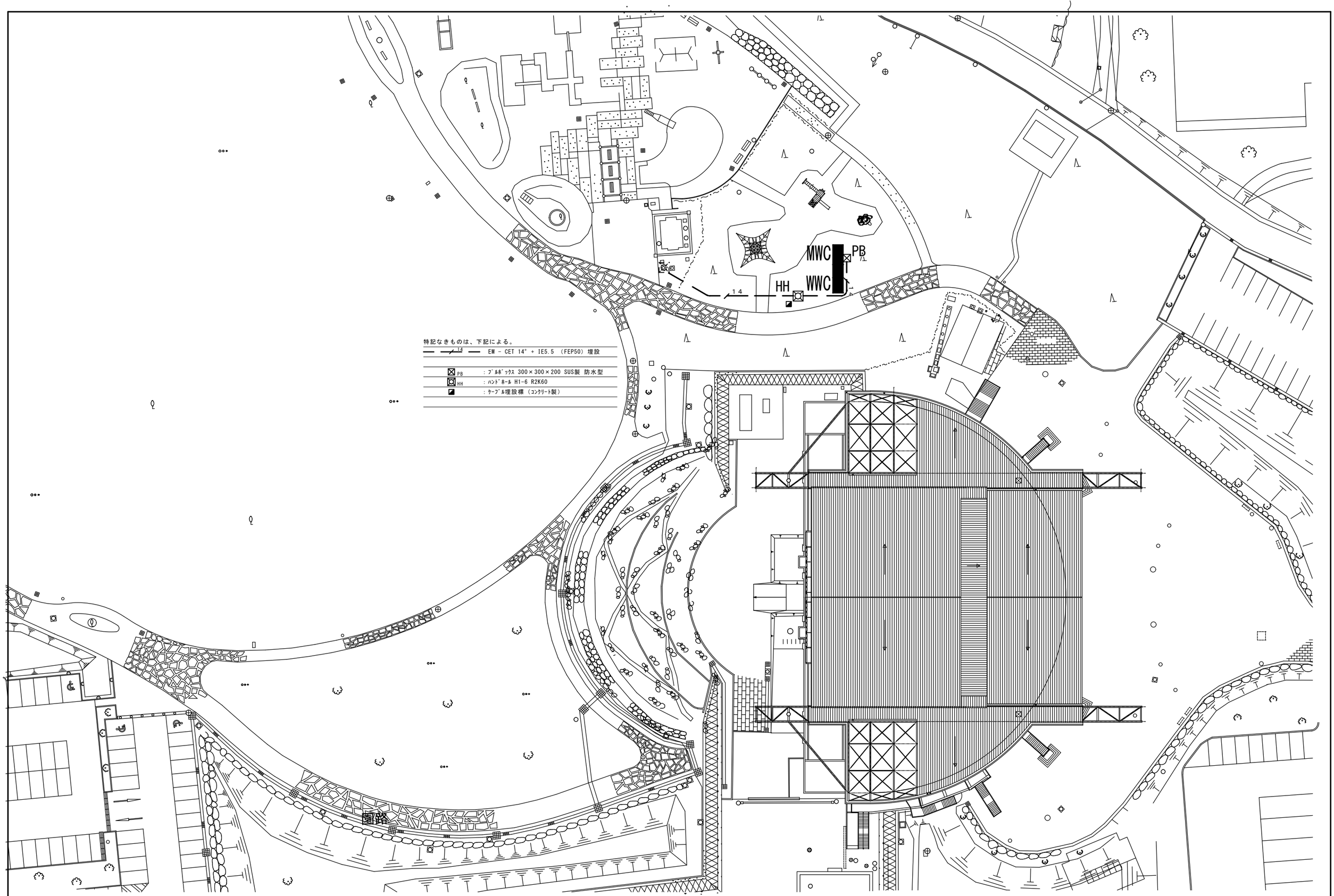


備　考	設計年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 S=1/30・1/10・1/8	河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	A / 13
		図面名称 基　礎　伏　図	



全　体　配　置　図

記事	月　日	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	設計番号
	月　日						
	月　日	縮尺　A1：S=1/600 A3：S=1/1200	製図	担当	承認年月日	図面名称 全　体　配　置　図	図面番号 A-14
	月　日						



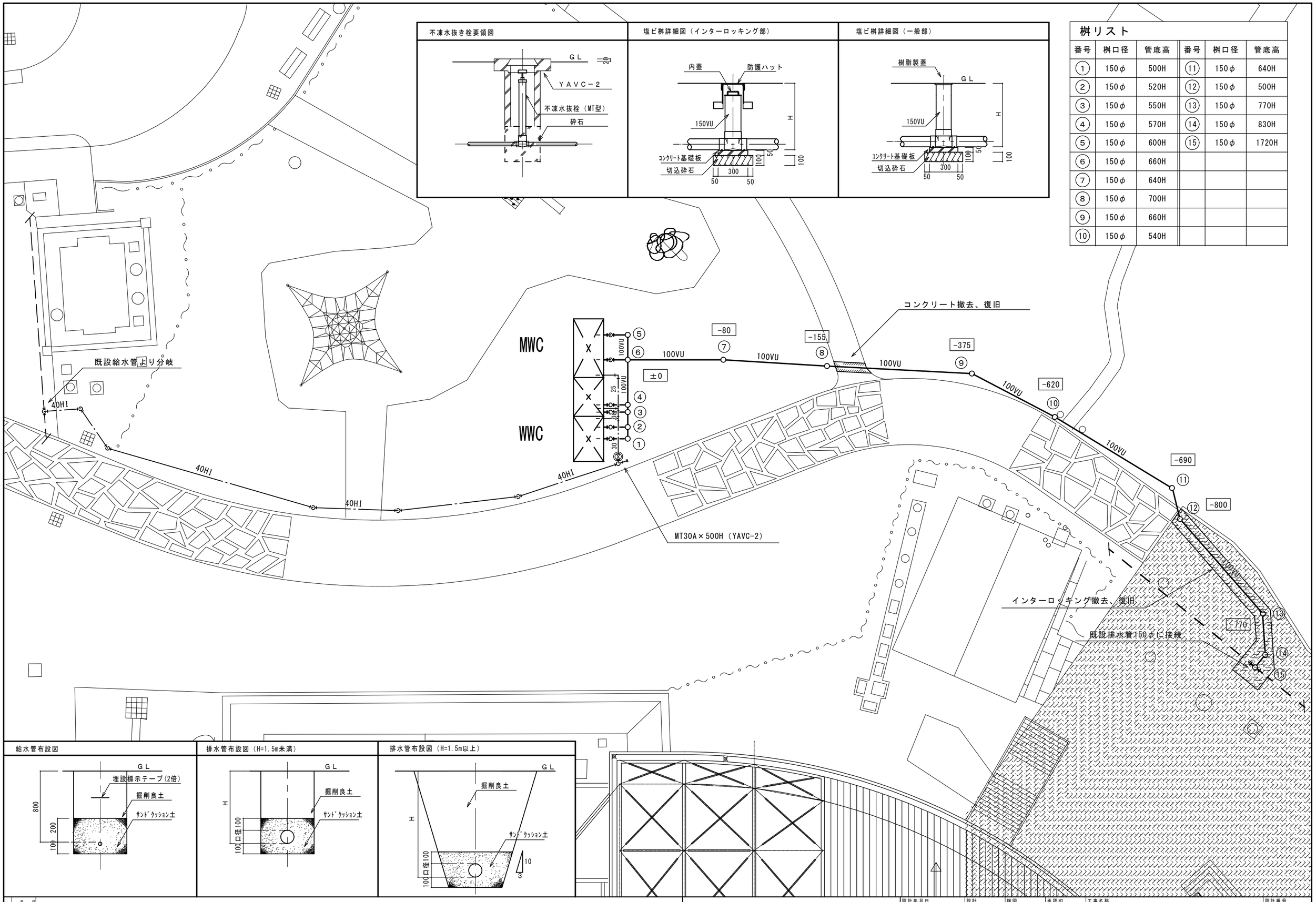
特記なきものは、下記による。

14	EM - CET 14° + IE5.5 (FEP50) 埋設
PB	: ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ 300×300×200 SUS製 防水型
HH	: ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ H1-6 R2K60
	: ｹｰﾌﾞﾙ埋設標 (ｺﾝｸﾘｰﾄ製)

記事		
	月	日
	月	日
	月	日
	月	日

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	設計番号
縮尺 A1:S=1/300 A3:S=1/600	製図	担当	承認年月日	図面名称 構内配電線路設備図	図面番号 E-01

工事名称: 河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事



桝リスト

番号	桝口径	管底高	番号	桝口径	管底高
①	150φ	500H	⑪	150φ	640H
②	150φ	520H	⑫	150φ	500H
③	150φ	550H	⑬	150φ	770H
④	150φ	570H	⑭	150φ	830H
⑤	150φ	600H	⑮	150φ	1720H
⑥	150φ	660H			
⑦	150φ	640H			
⑧	150φ	700H			
⑨	150φ	660H			
⑩	150φ	540H			

記事	月 日
	月 日
	月 日
	月 日

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	設計番号
				河口湖総合公園ちびっ子広場公衆トイレ改築工事	
縮尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200	製図	担当	承認年月日	図面名称 給排水設備図	図面番号 M-01